

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 2月13日

事業所名 児童発達支援事業所 奇跡の道しるへ

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7	0		
	2 職員の配置数は適切である	6	1		適切な配置は行っている。 送迎専門の職員を配置し療育担当者指導室から離れないように変更
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	5	2		室内には写真や視覚支援に必要なものを設置済み バリアフリーも必要に応じて対応する
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	7	0		
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4	3		日々の目標、狙い等の見える化を実施
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6	1		評価内容を職員全員に周知し、保護者の声を把握するように共有する
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6	1		ホームページをリニューアルし自己評価結果をわかりやすく公表している
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	7		外部評価については検討中
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6	1		外部へ研修に行く機会を設けているが、 今後はもっと参加を促していく
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	6	1		保護者面談を増やし職員へ情報共有を行っている
	11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6	1		アセスメント表や面談での記録をもとに子ども達の状況を把握している
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	6	1		児童発達支援ガイドラインをもとに個別支援計画を作成している。今後もより良い支援計画になるように改善していく
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	6	1		作成した支援計画案を職員全員に共有し支援を行っている
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	6	1		児童発達支援管理責任者がリーダーとなり立案を行っている
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7	0		
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	6	1		日々の利用状況、子どもの年齢に合わせて個別、集団療育を織り交ぜて計画を作成している
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7	0		
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7	0		
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6	1		毎日記録を取って保管し、必要に応じて振り返りや情報共有を行っている
20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	6	1		保護者面談を増やし、状況に応じて支援計画の見直しを行っている	

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7	0		
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	6	1		必要に応じて関係各所に連絡をして連携を行っている
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	0	0		
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	0	0		
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	2	5		保育園や幼稚園の担当者に支援計画を渡し、情報共有を行い連携を図っている
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	1	6		相談員や保育所等訪問支援員を通して、情報共有を行い連携を図っている
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	2	5		外部機関と連携して研修等を行っている
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	1	6		コロナ禍だったため外部との交流の機会は設けなかったが、今後は状況を見て交流イベントの開催を検討する
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	1	6		子ども支援部会が開催している会議等へは児童発達支援管理責任者が積極的に参加している
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6	1		送迎時や電話で伝達する機会を作っている
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	0	7		ペアトレ等は実施していないが、保護者面談を増やし個別に対応をしている	
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7	0		
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	7	0		
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6	1		保護者面談を増やし、直接会って助言や支援を行っている
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0	7		保護者会の開催については検討していく
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	7	0		
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	3	4		インスタを活用した活動内容の発信、ホームページをリニューアルしより見やすい環境構築を行っている
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	7	0		
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7	0		
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	5	2		地域の方々との交流会も実施している 今後もイベント開催を検討していく

非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	6	1		各マニュアルを作成し、見える位置に設置済み 訓練は年2回を予定している。訓練前にはマニュアルを再確認し訓練に臨みます。保護者様へ分かりやすく周知、説明していく
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5	2		避難訓練は年2回予定しているが、事前に避難訓練計画書を作成し職員全員でマニュアルの確認を行っている
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	7	0		
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	7	0		
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7	0		
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5	2		虐待防止マニュアルを作成し、読み合わせや事例を使った研修を行っている
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	7	0		